

新しいお産のカタチ

足立病院・南部産婦人科医院連携による

セミオープンシステムによる安心の出産サポート

南部産婦人科医院と足立病院は、妊婦さんの安心・安全な出産をサポートするため、密接な連携体制を構築します。通い慣れた地域でのきめ細やかな妊婦健診と、充実した医療設備が整った産婦人科専門病院での分娩を両立することで、より質の高いマタニティライフと共に京都での子育てを応援します！



●セミオープンシステムを利用した分娩までの流れ

1. 妊婦健診は南部産婦人科医院で継続

かかりつけ医として、これまで通り身近な環境で丁寧に妊婦健診を行います。慣れ親しんだ場所で、リラックスして健診を受けていただけます。
必要に応じて、足立病院で出生前検査や胎児診断外来の受診が可能です。



2. 妊娠中期に一度、足立病院で診察

妊娠30週頃に分娩に向けて足立病院でカルテを作成し、何かあった時にもスムーズな対応が可能になります。また、足立病院が提供する母親教室など、各種サポートプログラムにもご参加いただけます。

3. 妊娠36週頃に再度足立病院を受診

子宮口の状態などを確認し、その後の管理を相談のうえ、その後も南部産婦人科医院と足立病院で交互に連携して対応します。分娩は足立病院にて安心してお迎えいただけます。



4. 必要に応じ、緊急時もスムーズに連携

共通の電子カルテの使用により、迅速な情報連携が可能です。万が一の緊急時にも、両病院間で情報を渡して速やかに対応しますのでご安心ください。

●妊婦さんにとっての大きなメリット

1 地域密着医院での妊婦健診

住み慣れた地域の身近な医療機関で、リラックスして健診に臨めます。

2 分娩は地域周産期母子医療センター足立病院で安全に対応

NICU、麻酔科対応の無痛分娩なども整い、最新の医療設備と専門スタッフが揃う足立病院で、もしもの時も安心です。

3 緊急時にも対応可能な情報共有体制

電子カルテで情報が連携され、担当医が妊娠経過を把握したうえで、柔軟で迅速・継続的なサポートにより一貫した質の高いケアを受けることができます。

※電子カルテによる情報共有は、ご本人の了承のもとに行うとともに、個人情報の管理も徹底いたします。

●お問い合わせ



南部産婦人科医院

Nanbu obstetric and gynecologic clinic

075-313-6000



地域周産期母子医療センター

足立病院

075-221-7431

